



“NPO と行政の子育て支援会議” @阪神北

Newsletter
vol.27

地域みんなで子育てしましょ！

“NPO と行政の子育て支援会議”は兵庫県の施策に基づいた連絡組織です。その推進を目的とした「NPO と行政の子育て支援会議 運営事業」を、阪神北域では、「NPO 法人市民事務局かわにし」が受託して実施しています。NPO と行政（県・市町）が、子育て支援を協働で行う仕組みをつくり、子育て支援のネットワークが広がっていくことを目指しています。

平成23年度11月号
2011年11月30日発行

◆◆ 開催しました！ ◆◆
地域交流会@宝塚
「パパ目線のデジカメ講座♪」
11/6(日)13:30-16:30
宝塚市立男女共同参画センター



特定非営利活動法人
市民事務局かわにし
〒666-0015
川西市小花 1-8-1-104
(ジョイン川西)
TEL **072-774-7333**
FAX **072-774-7334**
E-mail **jim@jttk.zaq.ne.jp**



デジタルカメラの基礎知識について、とても詳しい解説のあと、実技で確認。「えー、こんなに違うの！」と、驚き&うれしい声がたくさん聞けました♪
最後はみんなで輪になって、写真のこと、子育てのことなど、お話も盛り上がりました。新しい出会いも満載の交流の場でした！



子育て支援の大きな輪を、ともに“つないで”いきませんか？

随時 会員募集しています!!

お問い合わせ・入会申し込み：特定非営利活動法人市民事務局かわにし

ひろがれ～子育て支援のわっ

阪神北地域で行われている子育て支援活動にスポットをあて、その様々な担い手をご紹介します。気づき、励まし、勇気、広がり…。仲間の活動から「元気の素」をいただきます！

三田プレーパーク・プロジェクト

♪三田市♪

プレーパークとは、子ども自身が遊びを作る遊び場で、冒険遊び場とも言われています。子どもがのびのびと思いつき遊べるように、禁止事項をなくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切にする事で、豊かに生きる力をはぐくむことを目的としています。



三田プレーパーク・プロジェクトさんは、2000年4月に発足し、市内の公園や空き地、田んぼや校庭などでプレーパークを開いてきました。今年度は、三田市のまちづくり活動助成金を受けて、市内の公園で2か月に一度プレーパークを開催しています。その活動の一つ、「すくすくプレーパーク」にお邪魔してきました。

よく晴れた気持ちのいい秋の朝。今日のプレーパークは、就学前の子どもとお母さんが対象。初めての試みとのこと。開始時間の午前10時になると、ベビーカーを押したり、抱っこしたり手をつないだり…。そくそくと親子が集まってきます。この日は全部で30組近くの親子が集まり大盛況！ 予想外の人数だったそうです。



まずは、広ーい芝生広場の一角に敷いた段ボールやシートの上に座って、お絵かきしたり、落ち葉で遊んだり。でも時間が経つにつれて、段ボールをトンネルにしてくぐってみたい、キャタピラーみたいにごろごろ転がったり、寝そべてママに引っ張ってもらったりと、どんどんダイナミックになっていきます。



地面のゴツゴツした感触や、土や草の匂いをからだ全体で感じている子どもたちは、いきいきとして心から楽しそう。そんな様子を見ているママたちからも、自然と笑顔がこぼれます。元気いっぱいの子供たちは、広場に飛び出して行きました。

代表の下村さんは、幼稚園でのワークショップや高校の美術講師のかたわら、プレーパークを運営されています。『異年齢の子どもと一緒に群れて遊ぶ体験は子どもたちにとって大切です。プレーパークでは、世話人やプレーリーダー自身も、子どもたちとともに本気で遊び楽しめます。また子育て中の親子どうしがつながれる場を提供することで、地域の子育て支援になれば』と語っておられました。



遊具などが整った場所でなくても、そこにあるものだけで次々に遊びを生み出し、楽しむ子どもたちの姿は、たのもしくもありました。とは言っても今の時代、どこでも自由に遊んでおいで！とは、なかなか言えない世の中。プレーパークはそのための環境を整えてくれます。自然の中で自ら遊びをつくり出す体験の素晴らしさを子どもたちに伝えてくれるプレーパークへの期待はますます高まるはず。応援しています！

■NPO と行政の子育て支援会議運営事業 問合せ先：特定非営利活動法人市民事務局かわにし
TEL：072-774-7333 FAX：072-774-7334 E-mail：jimstaff@jttk.zaq.ne.jp
阪神北地域担当：子育て支援コーディネーター 山元 智子